

○議長（松尾徹郎君）

以上で、新保議員の質問が終わりました。

ここで、暫時休憩いたします。

再開を3時20分といたします。

〈午後3時08分 休憩〉

〈午後3時20分 開議〉

○議長（松尾徹郎君）

休憩を解き会議を再開いたします。

次に、利根川 正議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。〔1番 利根川 正君登壇〕

○1番（利根川 正君）

みらい創造クラブ、利根川 正です。

まず初めに、今日6日で25年がたちました蒲原沢土石流災害で犠牲になった方々の心よりの哀悼の意を表します。

では、まず1番目の質問に入ります。

1、豪雪災害の対策について。

糸魚川市の今年1月から5月までの雪の被害で、死者、重軽傷者、建物被害、一部破損、床下浸水、農林業被害も多く発生しており、豪雪は自然災害と捉えることと、まず人命を最優先することが求められます。

(1) 糸魚川市の今年度12月よりの豪雪対策を伺います。

(2) 11月9日、東日本高速道路株式会社新潟支社と国土交通省北陸地方整備局は、大雪による立ち往生が予想される場合、2日前までに日時と区間を定めて周知する「計画的インターチェンジ閉鎖」を実施して、除雪体制を強化すると発表しました。

また、高速道と国道を同時に止めることも含め「ちゅうちょなく実施する」ことと除雪態勢も増強して、人員をこれまでの最大330人から500人に増やし、状況把握のためのカメラを昨年度より約100台を増設するというもので、人命を最優先にした対策を発表しました。

糸魚川市では、高速道、国道を止められては市民生活も止まることが予想されますが、どう対応するか伺います。

(3) 柏崎市では、自力での除雪が困難な世帯に対して地域内で助け合って、除雪作業をした場合に補助金を交付する「地域で支え合う除雪支援事業」を実施して、昨年度80町内会に支払いがありました。

また、上越市では、30メートル以上の車道除雪で町内会や自主防災組織などに上限5万

円の報奨金を支払う制度があり、90の町内会が登録を検討している動きがあります。  
糸魚川市では、除雪支援事業制度の考えはあるか伺います。

- (4) 豪雪除雪に関する市民の問合せ、苦情、要請が建設課など現場対応する部署に集中し、対応に追われ、除雪作業に当たる県や委託業者の連絡に支障を来すことがありました。緊急時に全職員が庁舎に集合することが最良ではなく、職員が地域に残り、情報収集伝達や区長との連携などを行い、建設課への応援体制がつかれないか伺います。

## 2、公共施設の現状と課題について。

糸魚川市を取り巻く課題は多く、一般財源の減少、労働人口の減少により市税の減収、人口減少に伴い地方交付税が減額となっています。

また、合併特例が終了し、社会保障費や各種福祉関係費が増大する中で、公共施設や公共インフラが老朽化し、修繕が必要な施設が多く出てきています。そのため、早く調整が必要で公共施設等に関して適正化を図る必要が強く求められています。市が保有する公共施設の面積が過大で、市民1人当たりの延床面積は、7.43平方メートルとなっています。人口3から5万人の市町村の平均約5.19平方メートルと比較すると、市が保有する施設面積は過大と思われます。

また、今後同規模で更新する場合、40年間で総額1,235億円、年平均30.9億円という膨大な費用が必要となります。人口減少や市税・地方交付税の減少で、市民1人当たりの負担はさらに大きくなり、将来の負担を考えると、施設の更新や整備を行う際には費用を抑制していく必要が強く求められています。

- (1) 糸魚川市公共施設等総合管理指針の基本方針に沿って実施し、全体の最適化を図り、社会情勢の変化に応じた適正配置を進めてもらい、利用者ニーズの検証が必要と考えますが、今後の取組について考えを伺います。
- (2) 公共施設等の整備、維持管理等の具体的な実施方針では、新規施設の整備を検討する際は、同種施設の廃止と規模縮小についての検討また従来の1施設1機能の考えだけでなく、1か所に集約することや1施設を複合化することにより、利用範囲の拡大と利便性の向上を図るとありますが、今後どの施設をどのように集約していくのか伺います。
- (3) 学校の適正配置に関する計画を今後策定し、適切な管理運営方法を検討するとあります。現在、市立小学校14校、84学級、1,682人、中学校4校、31学級、932人ですが、今後、学級が減る中、小中一貫校の計画を考える必要があるのではないかと思います。考えを伺います。
- (4) 博物館等は、利用状況や建物機能、代替機能の可能性を考慮するとありますが、糸魚川歴史民俗資料館と能生歴史民俗資料館を統一して管理運営できないか伺います。
- (5) 廃校となった小学校を、公民館、老人福祉、子供放課後クラブ、地域クラブ等の複合施設として、コミュニティ活動の拠点施設として、利用を進められないか伺います。

以上、お願いします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

利根川議員のご質問にお答えいたします。

1 番目の 1 点目につきましては、異常降雪時における優先路線を設定し、集中的に除雪を行うことで重要路線の交通確保ができる除雪体制といたしました。

2 点目につきましては、備蓄食料や暖房の確保など、冬期の備えについて出前講座などで周知啓発を行っております。また、道路や交通の状況などの適時適切な情報発信に努めてまいります。

3 点目につきましては、当市では小型除雪機貸与や屋根雪除雪の助成制度などがありますが、他市における制度も研究してまいります。

4 点目につきましては、対策本部を設置する中で、最善の配置を行ってまいります。

2 番目の 1 点目につきましては、公共施設等総合管理指針に基づき、施設の目的や利用による成果を検証する中で、取組を進めてまいります。

2 点目につきましては、今後の施設整備に当たっては、機能の集約化や複合化を慎重に検討してまいります。

3 点目につきましては、今後の児童生徒数の推移を確認しながら、適正配置計画を策定してまいります。

4 点目につきましては、両施設とも貯蔵する資料が多く、また、展示内容も異なることから、2 館を 1 館とすることは難しいと考えます。

5 点目につきましては、地域のご理解が得られるのであれば、機能の集約化や複合化は有効と考えております。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては、所管の部・課長からの答弁もありますのでよろしくお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1 番（利根川 正君）

では、2 回目の質問をお願いします。

6 月の一般質問で、豪雪時の総括できること、また、高速道と国道、市道の道路確保の考え、冬の前に緊急連絡先、除雪業者一覧表、屋根雪下ろし業者一覧表の配付を提案しました。

そこで、今回も豪雪対策をお聞きしますが、この冬、気象庁が 1 1 月発表した内容で、ラニーニャ現象の影響で日本海、西日本で一時的に大雪となると発表がありました。今年 1 月の豪雪が、また来る可能性があり、自然災害であり、人命を第一に考えなければならないと思います。1 月の豪雪で得た教訓は何かお伺いします。建設課の方、よろしくお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

小林消防長。〔消防長 小林正広君登壇〕

○消防長（小林正広君）

お答え申し上げます。

私、消防本部ですが、市の豪雪対策本部、こちらのほうも管轄していた部分もありまして、総括的にお答えいたします。

今年の1月の豪雪の教訓といたしましては、異常な雪でありました。そのために急激な大雪のときに除雪路線の関係、それから除雪業者の関係、それから屋根雪下ろし、そしてまた、ああいった状況のときに、どういう広報を出していくか、こういったことが教訓として幾つか挙げられたわけですが、中でも大事だと思っておりますのは、そのほかにやはりここは雪国であるということをしっかり再認識して、除雪作業が遅れたり、あるいは道が途絶して孤立したような場合、停電が発生したような場合、こういったときでも、ある程度生活に支障を来さないように、支障は来すんですが、何とか何日間かもつように、食料を用意したり、あるいは燃料を備蓄したり、そういったことを各個人個人もしっかりやっていく。意識をしていくというところが、大事であったなというふうに思っております。

また、地域からの情報収集の体制も併せまして、やはり本部のほうから市民の皆さんに現状がどうなっているのか、そういったところの情報をしっかり出していくことによって、混乱が生じさせないようにする。そういったところが教訓だったなというふうに考えております。

以上であります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

今回の豪雪を経験して、上越市では、94ページに及ぶ令和3年度大雪災害対応の検証を10月に発表しました。糸魚川市では、検証したのか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

小林消防長。〔消防長 小林正広君登壇〕

○消防長（小林正広君）

上越市では、検証ということで、まさに94ページもの分厚い冊子でまとめておられます。当市におきましては、昨シーズンの大雪災害の検証という意味では、冊子としてはまとめてはございません。

ただ、各関係課とそれぞれ必要な部分について協議、あるいは共有して、今後の対応策の見直しを行うとともに、雪害対応マニュアル及び道路の除雪計画等についての修正を行って、今冬に備えておるという状況でございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

冊子にはなっていないということで、検証により、前もっての対策が打てると思うんですが、これは必要だと思います。検証しなくてよかったのでしょうか、もう一度お願いします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

小林消防長。〔消防長 小林正広君登壇〕

○消防長（小林正広君）

先ほど少し言葉足らずでございますが、検証はしてないということではなくて、それぞれ各課の各分野において、この今年1月の豪雪の検証を行い、それについて必要なものをお互いに確認し合い、また、修正するところを確認し合い、そして共有し合ったというところで検証しております。

ちなみに、例えばほんの一つ、二つ申し上げますと、屋根雪下ろしの関連でいきますと、やはり建設業者と屋根雪下ろしの業者のすみ分け、こういったところが課題であったなというところで、建設系業界以外の団体とも連携ができないかとか、そういったところを今後どういうふうに進めていくかというところを1年間かけて準備というか調整をして、今冬に生かしていくというようなところを検証し、まとめているところでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

その検証の中身をぜひ分かるようにお願いしたいと思います。

それから、1月の豪雪は、能生地区から上越高田にかけて、一直線上に多く雪が降りました。この線上が、この冬、糸魚川のどの地域に降るかも分かりません。

そこで、11月、3月度の糸魚川市道路除雪計画が出されましたが、除雪機台数で昨年との違いは、市所有機で小型除雪車2台増、委託業者で所有車ドーザー1台増で、除雪委託の88者は、2年度と変わりはありません。この委託業者の総人数自体は、増えているのでしょうか、お伺いします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

斉藤建設課長。〔建設課長 斉藤 浩君登壇〕

○建設課長（斉藤 浩君）

委託業者のオペレーター数の問合せでございますが、交代要員を含めた人数についてはまでは把握しておりませんが、当然この機械が増えた分については、委託業者からは対応をいただいております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

近年、1人乗りの小型除雪機が多く、人員確保が課題です。除雪車免許取得制度がありますが、今年度、4月、10月での制度による免許取得者は、何人ほどおられますか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

大嶋商工観光課長。〔商工観光課長 大嶋利幸君登壇〕

○商工観光課長（大嶋利幸君）

市では、市内企業の人材確保を支援し、市内における安定的な雇用の拡大を図るため、大型運転免許等の取得促進に取り組む企業を支援しております。平成30年度から大型運転免許等取得支援事業補助金を実施しているところでありまして、この補助金を活用した今年度の免許の取得者につきましては、除雪車の運転に限ったものではございませんが、65件となっております。

なお、この補助金の対象者につきましては、事業の内容に沿うのであれば、法人に限らず個人事業主ですとか除雪組合等の団体でも対象となっております状況でございます。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

ぜひ免許取得者の増加を図ってもらいたいと思います。

次に、今回6月の一般質問で、大雪による倒木が予想される危険箇所、山間部、広域農道など、秋までにその箇所をあらかじめ伐採しておくことができないかお聞きしました。

この11月末に広域農道、市道の倒木のあるおそれのある木、その伐採処理がありました。また、今週12月10日、西海・大野線広域農道で伐採処理があります。この対応は、大雪時の先手で、先を見越したよいことだと思います。今後も行ってもらいたいと思います。

また、今回、携帯電話のLINEでスタートした道路危険箇所通報で、冬に多い道路の溝、また、街路樹等も含まれるということで、速い処理で安全に通行ができるようにしてもらいたいと思いますが、こちらは要望といたします。

次に、（2）高速、一般道の交通止めですが、豪雪時の高速道、国道の通行止めするとき、事故、病気等、消防の救急体制はどのようにするのか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

小林消防長。〔消防長 小林正広君登壇〕

○消防長（小林正広君）

豪雪時の通行止め、あるいは通行が難しいときの救急の対応ということでございますが、救急車両の通行の可否につきましては、まずは道路管理者に確認し、状況を把握して出動しております。そして、状況によりましては、消防相互応援協定に基づきまして、近隣の消防、東ですと上越、西ですと新川地域消防、そして長野県側ですと北アルプス消防、こういったところと連携しながら、こちらから行けない場合は、向こう側から来てもらう。そういったような連携も取りながら、救急に当たるといことで、そういう体制を取ってございます。

また、天候等によりましては、ドクターヘリ、あるいは消防防災ヘリの要請、これもちゅうちょなく行うこととしております。

また、高速についても、NEXCOのほうと連携しながら対応しております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

今、先ほどの最後の高速の件なのですが、国道が使えず、高速道路も止まっていて、高速道路は除雪しているという時点で、緊急車両は高速を通行できるのか、連携は取れているのかちょっとお聞きしたいんですが。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

小林消防長。〔消防長 小林正広君登壇〕

○消防長（小林正広君）

お答えいたします。

高速道路の除雪により通行規制がなされている場合に、大きく2つありまして、路線を拡幅するために、道は1本空いてるんだけど、今車を止めて、もう一本取ってるというときは、場合によっては救急車を先に優先させて、その1本空いてるほうを通らすということで、緊急走行をさせてもらえるように調整を行っております。

ただ、全く雪が、どかした状態じゃなくて、一番先に除雪車がいる場合には、もうどうしようもありませんので、その除雪車の後に低速になりますが、ついていくと。そういったような状況も考えられるという状況でございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

ちょっと確認なのですが、能生地域ですと浦本から能生までの間、高速と国道しかありません。また、親不知・青海・市振間も高速と国道しかありません。この場合において、やはり高速が止まりますと一般道も渋滞になります。そのときに緊急車両自体は、どういうふうに道路確保するようになっておるのかお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

小林消防長。〔消防長 小林正広君登壇〕

○消防長（小林正広君）

お答えします。

救急車両につきましても、やはり道が全く空いてない、動けない場合には、申し訳ないですが、どうしようもない部分もあるんですが、極力前のほうを空けてもらって、何とか通らせてもらうとか、そういったことが可能であれば、できるだけそうしますし、場合によっては不可能な場合、遅くなる場合もあるということでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

次に、豪雪が予想される前に避難に時間がかかる人や人工透析、また投薬、出産など、生命に関する人たちの注意喚起など、この方に市が行っているか、ちょっとお聞きしたいんですが。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

小林消防長。〔消防長 小林正広君登壇〕

○消防長（小林正広君）

今言われたような特別な、特殊な事情がある方については、消防のほうでも全て把握しとるわけではございませんので、特段個別に連絡するということは、今のところしておりません。

ただ、その分そういった方も含め、一般の方も含め、早めの対応、早めの準備、早めの考える時間ができるように、できるだけ早くの情報発信ということに努めておるところであります。

また、ぜひ周囲の方、身内の方からもご協力いただいて、適切な早めの対応が取れるように協力していただきたいというふうに思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

ぜひ早めの情報発信のほうをお願いしたいと思います。

次、3番目、地域で支え合う除雪作業ですが、一斉雪下ろしのとき、消雪パイプのある地域では、排雪率が100%かかると除雪計画に載っていましたが。豪雪時、消雪機能が間に合わず、雪が降り続くこともあり、積もった雪に屋根雪下ろしの場面がありました。その場合、大きな金額で雪の排雪の金額となりますが、状況を把握して、消雪パイプの箇所でも市の負担処置ができないか、お伺いします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

斉藤建設課長。〔建設課長 斉藤 浩君登壇〕

○建設課長（斉藤 浩君）

昨年は、豪雪による災害救助法の適用に合わせて、これらの負担率も一時軽減いたしました。今後もその時々状況によって、負担割合については検討していきたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

今回の豪雪で、上越市では空き家の屋根雪下ろしに大変苦勞しました。糸魚川市では、連絡が取



れない危険空き家等雪下ろしの対策は、どのようにするか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪又環境生活課長。〔環境生活課長 猪又悦朗君登壇〕

○環境生活課長（猪又悦朗君）

お答えいたします。

当市の場合は、糸魚川市地域防災計画というものがございまして、その中の雪害対策に基づきまして、糸魚川市雪害対応マニュアルというものを定めております。その中に、今のご質問の内容で、いわゆる所有者等が対応しない場合や不明の場合というものが、記載されております。一義的なところでは、今ご質問にありましたように第三者に危害が及ぶおそれがあり、緊急に除雪等が必要な場合は、区長等、地域の方々と地元対応の協議をまずさせていただくということでございます。その後、地元対応が不可能な場合は、災害対策本部と協議をするというふうな形の手順の中で、そういった危険を回避するという措置を対応していくというようなことで考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

制度の利用で屋根雪下ろしのとき、安全対策のアンカー設置がありました。今現在、何件ほどあるかお聞かせください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

斉藤建設課長。〔建設課長 斉藤 浩君登壇〕

○建設課長（斉藤 浩君）

11月末現在で、2件の申請受理となっております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

このアンカー設置は、身の安全を守ることだと思います。この2件というのは、かなり少ない状況に思いますが、いま一度周知が必要なのではないかと思います。いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

斉藤建設課長。〔建設課長 斉藤 浩君登壇〕

○建設課長（斉藤 浩君）

議員おっしゃるとおりでございます。これまでに板金工業組合だとか、建築組合への制度の説明や毎月のホームページなどで周知を呼びかけてきておりますが、今後もさらなる周知を行い、事業の活用について皆さんにお知らせしてまいりたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

次に、町内の消火栓が雪で埋まり、消防団の方たちは各自宅の除雪が優先で、消火栓の周りの除雪など、するまで時間がかかるため、各団員の近くの消火栓を各自除雪してもらうようなことはできないか、お伺いします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

小林消防長。〔消防長 小林正広君登壇〕

○消防長（小林正広君）

消火栓は、各地域にある消火栓の雪に埋もれないようにというところで、消防団の方に掘ってもらっているという状況でございます。消防団の皆さんには、各分団の地域の除雪を要請して、お願いしてやってもらっておるわけでございますが、やはり昨シーズンの急激な大雪の場合に、やはり自宅もやらんならんし、消火栓も物すごく一気に埋まってしまうというところで、時間を要したというのは事実であると思っております。そういったところも早めに情報を出しながら、態勢を取って、いざというときにできるだけ早く使えるように除雪できるような体制を考えていきたいというふうに思っております。

それから、そんな中、昨シーズンは、地域の自主防災組織が率先して自分たちの地域の中の消火栓を掘ってくれたと。こういった事例もございましたので、やはりそういったことも地域の皆様とお願いしながら一緒にできないか。やっていただくような方法、そういった方法についても、ちょっとまた研究をしてみたいなというふうに思っております。

以上であります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

次に、今回、除雪支援事業で、小型除雪機貸与事業があり、98地区100台が備えられましたが、今年度、住家周辺の除雪も認められ、燃料費も全額市の負担ということで、使う頻度はかなり増えると思いますが、これでよいのか確認させてください。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

斉藤建設課長。〔建設課長 斉藤 浩君登壇〕

○建設課長（斉藤 浩君）

今年度4月に要綱を改正し、議員おっしゃいますように燃料費は、全額市負担としました。また、非営利であれば、私道でも住家周りでもどこでも使用いただけるというふうに要綱を改正しております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

この作業のとき、町内会において小型除雪機に携わる人の名簿、また保険など、どのようになっているか。また、操作方法の指導を行っているか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

斉藤建設課長。〔建設課長 斉藤 浩君登壇〕

○建設課長（斉藤 浩君）

まず、保険につきましては、各地区から事前にお名前を提出いただいております。途中で増えたりすれば、またその時点で、新しい方のお名前の提出をいただいております。それから、新たに配置するといいましょうか、そちらの地区については、現地のほうで操作説明させていただいております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

すいません。保険等の加入は大丈夫なんでしょうか。除雪車が、除雪機に携わる場合の保険など、市のほうで入っているのかどうか。町内会で入れなきゃいけないのか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

斉藤建設課長。〔建設課長 斉藤 浩君登壇〕

○建設課長（斉藤 浩君）

言葉足らずですみませんでした。各町内から、その除雪機に運転する人といいましょうか、そちらの方の名簿を提出いただいて、市のほうでそちらの方の保険を入れておるといところでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

（4）番の市職員の豪雪時の配備体制について、お聞きします。

出勤時に大雪のため市役所にたどり着けないなど、あると考えますがあらかじめ早い段階で関係者に連絡する体制ができていないのか。また、泊まり番体制ができていないのか。庁舎に集合できない場合、地域に残り、情報収集・伝達、区長との連携などができていないのか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

齊藤建設課長。〔建設課長 齊藤 浩君登壇〕

○建設課長（齊藤 浩君）

豪雪時には、除雪当番班を増員する体制を事前にとっております。

また、本庁に登庁できないと連絡を受けた場合には、各事務所へ応援に入ってもらおうようにしております。また、その場合には、ほかの登庁可能な職員を確保し、体制を整えております。

泊まり番のご質問ですが、泊まり番の体制までは取っておりません。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

小林消防長。〔消防長 小林正広君登壇〕

○消防長（小林正広君）

市の職員の災害時の防災の体制ということで、お話しさせていただきます。

市職員の防災体制につきましては、气象台から提供される気象情報などを参考にして、大雨、強風、そして大雪等々に警戒するために、前日の段階から職員にしっかりと連絡体制を取るようということ連絡し、また所管施設の確認等について、併せて周知をしておるところでございます。

したがって、本当に今晚から明日にかけて、かなりひどくなるなというときには、そのつもりで職員も前日から心構えをし、すぐ出てこれるような体勢を取っておるという状況でございます。

また、各課、それぞれの所管する施設においては、必要に応じて早朝、早めに出てくるとか、あるいは夜間もそのまま待機するとか、そういったのは、それぞれの課の必要な所管施設等の状況によって、それぞれ判断して、体勢を取っておるというところでございます。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

次に、連絡体制ですが、系統図では、糸魚川、青海、能生の建設課に国、県、警察、消防、市関係各課、除雪業者、各地区の区長等、全ての団体が集中する状態で、適正な判断ができないと思いますが、緊急時に建設課に集中することなく、振り分けできないものか、伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

齊藤建設課長。〔建設課長 齊藤 浩君登壇〕

○建設課長（齊藤 浩君）

除雪計画の連絡系統図は、あくまでも連絡体制として関係機関を明記してあるものであります。

緊急時には、各関係機関における情報を共有するよう体制を取り、各機関連携して、効率的な除雪ができるよう心がけてまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

豪雪で最後になりますが、今回の豪雪で野生のイノシシが餌を求めて雪の少ない海岸部に移動してきて、磯部、百川、浦本地区でも多くの被害がありました。磯部地区では、道路に大きな石が落ちてきて、かなり危険でした。現在、網を張っていますが、金網の丈夫なものに替えないと対応できないと思います。

また、人的被害も確認されていて、大雪後は特に注意が必要で、注意喚起を徹底してもらいたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪又環境生活課長。〔環境生活課長 猪又悦朗君登壇〕

○環境生活課長（猪又悦朗君）

お答えします。

議員のご提案のように、そういったところをしっかりと目配り、気配り、また地域との情報共有を進めまして、対応してまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

ぜひお願いします。

次、2番目、公共施設の現状と課題について、糸魚川市公共施設等管理指針で、社会情勢の変化に応じた適正配置とあります。施設カルテとは、施設の現状を見える化したもので、176施設が計上されていて、ホームページ上でも掲載しております。この施設カルテで、在り方の検討が必要という、挙げられていた、今まで使用していなかった、例えば美山の多目的集会施設の活用計画がありますが、このように県・国から支援を活用した施設の適正化を進めてもらいたいのですが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

山口財政課長。〔財政課長 山口和美君登壇〕

○財政課長（山口和美君）

お答えいたします。

今、議員のほうで例題として出させていただきました美山の多目的集会施設、こちらのほうたしかに事例だと思えます。利用目的のほうを社会の状況等に、現在の状況に照らし合わせまして、目的を定めて対応して、また、国などの支援を受けて、対応できたものと考えております。

また、今後につきましても、適正配置とか、あと設置の目的、こちらが重要になってくるかと思うんですが、それを考える中で必要な施設については、可能な限り財源のほうを確保を図りまして、活用を進めていきたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

ただ、この計画するものも、支援の範囲内でのものでなく、市も少し加えて、市民が納得いく施設を考えてもらいたいと思います。そうしないと中途半端な施設となりかねないんですが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

山口財政課長。〔財政課長 山口和美君登壇〕

○財政課長（山口和美君）

お答えいたします。

やっぱり納得いく施設ということで、その整備の内容につきまして、こちらのほう先ほども申しました利用目的、こちらをきちんと検証する中で、必要なものは何かというのを考え、財源も含めまして精査し、進めてまいりたいと考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

ぜひお願いします。

次に、施設カルテの中で、市の所有、有効活用で、駐車場を見ると令和2年度の年間契約数が338件、1,200万もの収入があり、これら車社会において、今後もっと利用されると思います。市の土地を駐車場に活用する検討をする考えがあるのではないかと思います。いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

山口財政課長。〔財政課長 山口和美君登壇〕

○財政課長（山口和美君）

お答えいたします。

この自動車置場の利用につきまして、実は年々ちょっと減少傾向がございます。

ただ、議員おっしゃいますように有効な土地の活用の一つだとは考えております。なので、土地のあるところの周りの状況を住宅などとか近隣の状況を踏まえまして、活用できる場所につきましては、有効活用のほう考えてまいりたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

次にです。施設カルテの第1次評価の中で、在り方の検討が必要な施設が上がっております。例

えば公民館で9施設、支館で10施設が該当しますが、こちらをどのように考えているか、お伺いしたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

穂苅生涯学習課長。〔教育委員会生涯学習課長 穂苅 真君登壇〕

○教育委員会生涯学習課長（穂苅 真君）

公民館をとということでご質問いただきました。お答えいたします。

公民館につきましては、地域の核となる施設であるということから、現段階では適切な維持管理等を行いながら、施設を維持していくということと考えております。

また、支館については、旧青海時代に整備されたものでありまして、当面については維持をしていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

公民館、支館の維持は、続けるということでした。

また、次に、小学校の空き教室で、公民館施設の運営ができないか。例えば小学生の帰りの時間帯に運営して、クラブ、放課後の学童保育の子供を見守るなど、スムーズに行くのではないかと思います。いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

穂苅生涯学習課長。〔教育委員会生涯学習課長 穂苅 真君登壇〕

○教育委員会生涯学習課長（穂苅 真君）

公民館につきましては、先ほど来申し上げておりますとおり、地域の方のみならず、多数の方が訪れる場所ということを利用してありますことから、空き教室を利用した公民館等については、地域の皆さんのご理解が得られれば可能かなというふうに考えておりますが、学校と、今廃校ではなく、学校をそのまま使っている場合のということになりますと、多少なりの改修等、安全面のこともありますので、改修等が必要かなというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

次に、公園です。公園の4地区での在り方検討が挙げられております。この利用回数から見ても、住民との話し合いが必要と思いますが、検討は必要ではないかと思いますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

山口財政課長。〔財政課長 山口和美君登壇〕

○財政課長（山口和美君）

お答えいたします。

公園のおかれている周りの状況、そちらのほうの関係もあるかと思えます。利用実態なども確認する中で、地域住民の皆様と在り方など、お話しさせていただく中で検討してまいりたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

ぜひ公園の有効活用をよろしくお願ひします。

次、3番目、小中一貫校の考えをお聞きします。

小学生の入学人数が、市全体で300人を下回っている現状で、今後、令和5年度で学級数で4学級減、現在1,682人から1,500人以下になる見込みで、今後、小学校、中学校の建て替え等が考えられるが、立地、交通の便などを考え、中学校敷地内での施設隣接型、また、建物を利用して、施設一体型の小中一貫校を考えられないか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

磯野こども課長。〔教育委員会こども課長 磯野 豊君登壇〕

○教育委員会こども課長（磯野 豊君）

おっしゃるとおり、今後、児童数は減少してまいります。市長答弁のとおり、今後、学校の適正配置計画を策定いたします。当然、施設の有効活用という視点は、欠かせないと思っております。その中に小中一貫ということも含めて、検討が必要だというふうに思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

この小中一貫校なんですが、生活面では中学生の入学時、環境の変化による中1ギャップがなく、スムーズに中学生活に溶け込むことができる。また、特別支援教育クラスも中に入り、通学時のスクールバス、民間路線バス、ジャンボタクシーなどの送迎等も有効に活用でき、また、体育館、小体育館も共同利用ができる。建設費、土地代が安価で済むということ。隣県では、山と湖の小さな町の大きな挑戦で、平成24年開校の長野県信濃小中一貫校がありますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

磯野こども課長。〔教育委員会こども課長 磯野 豊君登壇〕

○教育委員会こども課長（磯野 豊君）

議員おっしゃるとおり中1ギャップですとか、少子化などの背景がありまして、小中一貫校につきましては、2016年に学校教育法が改正されまして、義務教育学校として位置づけられた新たな教育制度で、全国で広がっているというふうに認識しております。様々なメリットがあるということは、承知しておりますが、先ほどの答弁のとおり適正配置計画の中で、できるかどうかも含め



て検討してまいります。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

ぜひ検討のほうお願いしたいと思います。

次に、4番目、歴史民俗資料館の統合の考えをお伺いします。

能生歴史民俗資料館は、昭和55年にオープンして、伝統的な建物や民具、保護を目的としてきましたが、かなり古くなり、かやぶきも傷んでおります。修繕にも職人が少なく、高額となる現状を糸魚川市歴史民俗資料館と一緒に運営できないか。糸魚川歴史民俗資料館は、相馬御風先生の資料が中心の文学資料館ですが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

伊藤文化振興課長。〔教育委員会文化振興課長 伊藤章一郎君登壇〕

○教育委員会文化振興課長（伊藤章一郎君）

能生歴史民俗資料館につきましては、建物自体が中門造りの民家ということで、文化財的にも非常に価値があるというふうに認識しております。何とか財源をいただきながら、修繕して残していきたいと考えているところです。

なお、糸魚川の民俗資料館につきましては、相馬御風先生の関連の資料を展示しておりますので、常設展示は今までどおり継続してまいりたいと考えております。

なお、糸魚川の歴史民俗資料館で、民具とか漁具とかの展示も検討したことがありますが、企画展を実施する中で何とかできないか、今後検討してまいりたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

能生歴史民俗資料館は、修繕し、残すということで了解いたしました。

次に、廃校の利用について、最後に市長にお伺いしたいんですが、今現在、避難所として、また、活用を地域の方と話し合いで決めたいということが進んでおりますが、地域の方と話はかなり進んでいるものなんでしょうか。

また、周りの景観もすばらしく、利用価値のある建物、市長も見学に行っておられると思いますが、ほかの議員からも再三意見があります。

私の考えとしては、これからの廃校の利用、旧文化財の収納資料展示場、またキャンプ場、ワーケーション施設、JR大糸線の収蔵資料の展示場として考えてはいかがでしょうかと思いますが。そして、県内外から活用方法を募集して、実際に住んでもらい、定住してもらい、使いこなしてもらい、いろいろあると思いますが、市長の考えをお伺いします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

現在ある廃校になっておる小学校につきましては、非常にまだまだ建築物としてはしっかりしておるわけございまして、そしてまた、周辺のロケーションもいいわけございしますので、非常に私といたしましては、何とか活用していきたい。また、市民の皆様方、地域の皆様方の、この地域の活性化に寄与する施設として使っていきたいわけでありますが、しかし、なかなか難しいところございまして、それについてはいろんな考え方が、この中に織り込めていけるのではないかなと思っておりますので、市内の皆様方や、また、市外の皆様方のいろんなご意見を聴く中で、有効活用を図っていきたいと思っております。それには、当然市民の皆様方の声を反映するような施設になるのが、一番理想だと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

利根川議員。

○1番（利根川 正君）

ぜひとも早い行動で、有効に活用してもらうようにお願いします。

以上で、質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（松尾徹郎君）

以上で、利根川議員の質問が終わりました。

関連質問はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

関連質問なしと認めます。

本日は、これにてとどめ、延会といたします。

大変ご苦労さまでした。

〈午後4時20分 延会〉